

平成30年5月25日

平成30年度 第2回銚子市下水道事業運営協議会 概要

- 1 日 時 平成30年5月25日（金）午前10時00分～午後12時10分
- 2 場 所 市役所3階庁議室
- 3 出席者 委員 7名（宮崎会長、岡田委員、小濱委員、小倉委員、  
滑川委員、安西委員、松尾委員）  
事務局 7名
- 4 概要 下記のとおり

記

議題（1）下水道使用料の見直しについて

- ・下水道使用料の基本的な考え方
- ・下水道使用料の見直しについて

【質疑応答】

委員：維持管理費が増加していく見込みだが、人口が減少すれば処理水量も減り、維持管理費は減少するのではないか。

事務局：処理水量の減少で減るのは薬品費等で人件費等は今後増加していく見込みであるため、全体としては増加する見込み。

委員：値上げを決定する前に住民へ説明する機会を作れないか。

事務局：難しい。協議会委員の皆様に住民代表としてご議論いただければと思う。

委員：水洗化率が低い状況だが、何か対策はあるのか。

事務局：現在改めて全未接続世帯を調査している。その結果を基に水洗化率を向上させる方法を検討していきたい。

委員：22年度の料金改定時と比較し、水洗化率はどの程度上がったのか。

事務局：5%ほど上がった。

委員：水洗化率を上げるために国の補助等はないのか。

事務局：平成27年にはあったが現在は無い。

現在はリフォーム補助金に、下水道接続工事の場合は上乘せするという形をとっている。

委員：料金を上げる場合、大口も小口も一律の割合で上げるのか。

事務局：資料では一律で上げた場合の想定料金をお示ししている。

全体の増額割合を決め、その後各階層の割合を決定していただきたい。

委員：市として住民を増やすための取組みはあるのか。

事務局：企画サイドで「お試し移住」という移住者を増やす取組みを行っている。

委員：下水道の状況を説明してもらえば、料金を上げなきゃならないのはわかるが、各地区に持って帰った時に納得できる説明ができない。一般会計も含めた市の将来の展望を示してもらいたい。企画財政サイドからも説明してほしい。

委員：値上げは仕方ないと思うが、水洗化率を上げるための施策や市の努力目標を示してほしい。

委員：下水道事業だけでなく、他の公共料金の値上げも含めて示してもらいたい。

委員：今回基本料金の改定はないが、今後はどうなのか。

事務局：基本料金は減価償却費等に基づいて算出する。3年後の公営企業会計への移行後、減価償却費等が詳細に計算できるようになり、現在の基本料金が適正なのか判断できるようになる。その際、再度検討することになる。

委員：豊里台の施設の改修は具体的に何年後くらいなのか。

事務局：耐用年数では10年後くらい。その際、改築・改修がいいのか、建て替えがいいのかを検討していく。

委員：豊里台に若い世代が家を建てるという働きかけを下水道から市へしてほしい。

委員：大口の増額分は、具体的にはいくらになるのか。

事務局：排除量を25,000 m<sup>3</sup>/月とすると、22.2%の場合年間1,400万円程度の増額。

委員：現場では銭単位で経費を削減している中で、このピッチで値上げをされると本当に困る。人口を増やす、水洗化率を上げる施策がないと近いうちにまた値上げとなり、将来的に破綻してしまう。

以上